病　院　だより　2023年10月号　第431号

昭和大学病院　検索

昭和大学病院附属東病院　検索

発　行　昭和大学病院、昭和大学病院附属東病院
発行責任者　昭和大学病院長　相良 博典
編集責任者　広 報 委 員 長　山岸 昌一
〒142-8666 東京都品川区旗の台 1-5-8
ＴＥＬ：03-3784-8000（代表）

ご挨拶　昭和大学病院　腫瘍内科　診療科長　角田（つのだ）　卓也（たくや）

昭和大学腫瘍内科で診療科長を拝命しております角田卓也（つのだたくや）と申します。当科は、前任の佐々木康綱教授が初代教授として新設され、がんの薬物療法をその主たる業務とし、毎週開催されるキャンサーボードを主催し、他診療科とともにがん患者さんに適切な治療を届けることを目指しています。また、最近急増している外来化学療法を担う当院腫瘍センターの運営にも関わらせていただいています。腫瘍内科では、基本的に全ての癌腫の薬物療法を担当しています。がんは２人に 1 人が罹患し、死因の第１位であるとても身近な疾患です。今までは「がんは薬では治らない」と誰もが考えてきましたが、最近の免疫チェックポイント阻害剤の登場により、完治かと思わせる長期生存者が出てきました。今後もがん患者さんのために、他診療科とともに質の高いがん治療を提供していきたいと考えております。

‹Profile›

1981 年　和歌山県立医科大学入学
1987 年　和歌山県立医科大学卒業、第二外科外科入局
1989 年　同大学院・医学博士取得（腫瘍浸潤リンパ球の研究）
　　City of Hope National Cancer Institute, LA, USA 留学
1995 年　和歌山県立医科大学第二外科 助教
2000 年　東京大学医科学研究所外科 講師、准教授（指導医・専門医）
2006 年　創薬ベンチャー 社長
2015 年　グローバル製薬会社 MA オンコロジー 部長
2016 年　昭和大学臨床薬理研究所　臨床免疫腫瘍学講座 教授
2018 年　昭和大学医学部 内科学腫瘍内科 主任教授
　　昭和大学病院腫瘍センター長

＜座右の銘＞
昭和大学腫瘍内科のモットー
Everything for patients' happy smile!

昭和大学腫瘍内科のミッション
納得の医療を患者さんに

個人のモットー
かいた汗はうそをつかない

＜今後の展望＞

がんを薬で治すこと。これは人類の夢でした。免疫チェックポイント阻害剤の出現で、まさにその可能性が見えてきました。がんを拒絶する私たちに備わった免疫の力がこの可能性を持っていることが分かったわけです。昭和大学腫瘍内科は、がん免疫療法のメッカとなりつつあります。腫瘍内科は、全ての癌腫に対するがん薬物療法を実施しており、臨床薬理研究所、吉村清教授、和田聡教授と強い協力関係を構築し、臨床現場から出たクリニカルクエスションを基礎的解析で解明し、発信してまいりました。がん患者に最適の医療をとどけること、腫瘍内科のモットーである Everything for patients happy smile!を実現すべく他診療科と密接な関係を構築、Work as one team for patients' happy smile を今後も継続していきたいと思います。今後とも皆様のご指導・ご支援宜しくお願い申し上げます。

お知らせ

【9月3日(日)】令和５年度防災訓練が行われました

令和５年度９月３日(日)に、昭和大学病院・昭和大学病院附属東病院において防災訓練が実施されました。本訓練は、東京都より指定されている災害拠点病院としての役割（災害発生時に２４時間体制で被災した傷病者を受け入れる役割など）を担うべく、災害時の初動等に重点をおいて実施されているものです。休日に震度５強の地震が発生したことを想定して行われました。

病院長が本部長となり、災害対策本部が設置され、院内外の情報収集や模擬患者の初療対応などの訓練を実施いたしました。

昭和大学病院だけでなく、昭和大学法人部門・品川区・東京都水道局との連携訓練や、旗の台一丁目町会・西中延二丁目町会・荏原消防署・荏原医師会の方々にもご参加いただくなど、多くの方々にご協力いただき、有意義な訓練を実施することができました。

また今回は、地域との連携を強めることを目的に、当院の取り組みを院外へ発信するべく、品川ケーブルテレビにも取材にお越しいただきました。（放送日は未定のため、決定次第、改めてお知らせさせていただく予定です。）

今後も、災害拠点病院の役割を果たすべく、万一に備えて万全の態勢を整えてまいります。

当日の様子

～災害対策本部 訓練の様子～

～初療エリア傷病者受入れ訓練の様子～

トピック　【９月７日（木）】当院の職員が救急業務協力者として表彰されました

９月７日（木）、当院救急診療科垂水庸子診療科長が救急業務協力者として東京消防庁より表彰されました。

この表彰は、９月９日の「救急の日」及び「救急医療週間」に関連して、東京消防庁救急相談センター救急相談医としての勤務実績が評価されたものです。

当日は相良博典昭和大学病院長も贈呈式に出席し、東京消防庁 消防司令長の白石健二様を交え日頃の当院と消防庁との連携に関して意見を交わす機会にもなりました。

※撮影時のみマスクを外しております。

敬称略）写真左から昭和大学病院病院長 相良博典、救急診療科 垂水庸子、東京消防庁 消防司令長 白石健二

トピック　【9月20日（水）】当院の職員が救急業務功労者として表彰されました

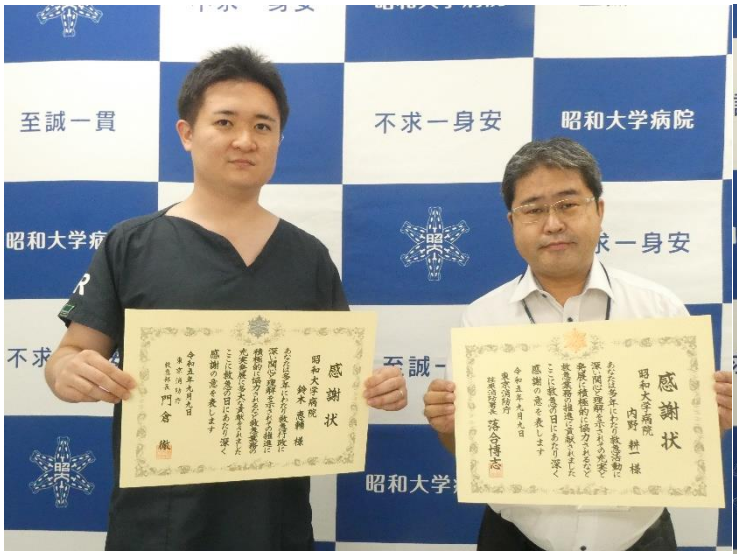
９月 20 日（水）、当院の職員が救急業務功労者として荏原消防署より表彰されました。

この表彰は例年、９月９日の「救急の日」に関連して、昭和大学病院の救急業務に従事している医療関係者に感謝状が贈られるものとなっております。

今年度は、救命救急科 医師 鈴木恵輔、救命救急センター 外来看護師 小山愛樹、救急医療センター受付 事務員 内野耕一の計３名に感謝状が贈られました。

※救命救急センター外来 小山看護師は、都合により後日表彰状をお渡しいたしました。

※どちらも撮影時のみマスクを外しております。



左から医師 鈴木恵輔、事務員 内野耕一

看護師 小山愛樹

トピック　外来表示盤　呼び出し番号の表記変更について

令和５年１２月より、外来表示盤の呼び出し番号が、受付順の通し番号（数字４桁）に変更となります。ご理解ご協力の程よろしくお願いいたします。

※受付番号は診察の順番ではございません。

※表示盤に表示された順番で診察となりますのでご注意ください。

集合表示盤

〈 現　行 〉

〈 変更後 〉

個別表示盤

〈 現　行 〉

〈 変更後 〉

お問い合わせ
昭和大学病院　医事外来課
TEL　03-3784-8523

羽ばたけ期待の医療人　No.48「臨床工学技士」

今月は「　臨床工学技士　」の成瀬　周（なるせ　しゅう）さんをご紹介いたします。

【成瀬　周さん】

臨床工学技士を志した理由を志した理由を教えてください。

両親が医療従事者であり、幼いころから医療というものを身近に感じていたため、私自身も医療の道に進みたいと思うようになりました。

特に、身内で医療機器を導入しQOLが向上していくのを目の当たりしたことで、私自身も医療機器を通じて患者さんの手助けをしたいと考え臨床工学技士を志しました。

現在、どのような業務をしていますか。

手術室/ICU業務、IVR業務を中心に従事しています。手術室/ICUでは麻酔器・人工呼吸器の使用前および稼働中の点検、手術支援ロボットのセットアップ、その他医療機器のトラブル対応、IVRではポリグラフや血管内画像診断装置の操作を主に行っています。

今後、どのような臨床工学技士を目指しますか。

医療は日進月歩で発展し続けています。私は、「医学」と「工学」両方の知識を日々アップデートし、経験を積むことで、その変化に追従できる臨床工学技士を目指します。また、業務の正確性を高めることで、同僚だけでなく他職種からも信頼されるような臨床工学技士を目指し、日々精進していきます。

お知らせ

医師の配属・異動・退職について

新規配属

新規採用（2023 年 10 月 1 日付）
●呼吸器・アレルギー内科　秋本佳穂　●小児科　山下恒聖　●整形外科　岡田拓巳　●麻酔科　神山瑞恵
●麻酔科　石田裕介
附属施設から（2023 年 10 月 1 日付）
●眼科　宮澤和基(江東豊洲病院から)　●救命救急科　島田拓哉(藤が丘病院から)、富田佳賢(藤が丘病院から)
●産婦人科　向井勇貴(江東豊洲病院から)、茨城麻綾(江東豊洲病院から)、本多容子(藤が丘病院から)、田中紗英子(江東豊洲病院から)、佐藤麻柚(江東豊洲病院から)
●耳鼻咽喉科　宮地理瑳(藤が丘病院から)　●集中治療科　安斎亘(横浜市北部病院から)
●消化器・一般外科　恩田美樹(江東豊洲病院から)、髙木祐希(江東豊洲病院から)
●消化器内科　坂木理(横浜市北部病院から)、牛尾純(江東豊洲病院から)
●小児科　野口悠太郎(横浜市北部病院から)、安部マリア(江東豊洲病院から)、佐々木洋亮(横浜市北部病院から)、
●小児外科　宮坂俊(江東豊洲病院から)　●整形外科　筒井完明(横浜市北部病院から)、勝盛雅史(藤が丘病院から)、荒木渓(江東豊洲病院から)、向坂瑛志朗(江東豊洲病院から)、杉山大輝(横浜市北部病院から)
●脳神経外科　相浦遼(藤が丘病院から)、三鬼侑真(横浜市北部病院から)
●脳神経内科　山口倫昌(江東豊洲病院から)　●泌尿器科　岡田翔(江東豊洲病院から)
●放射線治療科　豊福康介(江東豊洲病院から)　●リハビリテーション科　中山麻理(リハビリ病院から)
●循環器内科　辻田裕昭(横浜市北部病院から)、井川渉(横浜市北部病院から)
学外施設から（2023 年 10 月 1 日付）
●眼科　岡部穂奈美　●血液内科　佐々木陽平●産婦人科　川嶋章弘、板倉桃子、山田育子、宮崎知哉、清水文香、平林歩、木村英人　●循環器内科　蜂矢るみ、髙井優希、中澤幹、宮﨑はるか、市川沙綾
●消化器・一般外科　長石将大、北島徹也、幕内陽亮　●消化器内科　森大地、及川脩、野村英里佳
●小児循環器内科　東みなみ、高橋碧、加藤憲一　●整形外科　久保祐太朗、青沼良隆、葉山隼平
●小児外科　牛尾日優　●呼吸器外科　大乗志帆　●脳神経内科　小澤準之輔　●泌尿器科　麦田稔貴
●皮膚科　西村望　●リウマチ・膠原病内科　蕗田淳平　●形成外科　今田陽

異動

附属施設へ（2023 年 10 月 1 日付）
●眼科　柚木﨑悠衣(リハビリ病院へ)、二階堂裕士(リハビリ病院へ)　●救命救急科　永樂学(藤が丘病院へ)
●産婦人科　原澤孝綱(横浜市北部病院へ)、兼松智恵子(江東豊洲病院へ)　●耳鼻咽喉科　三好直人(藤が丘病院へ)
●循環器内科　望月泰秀(横浜市北部病院へ)、岡部俊孝(横浜市北部病院へ)
●消化器・一般外科　栗岡辰典(江東豊洲病院へ)　●小児外科　安藤熙典(江東豊洲病院へ)
●小児科　下野貴也(横浜市北部病院へ)、白井まどか(江東豊洲病院へ)、西山裕木(江東豊洲病院へ)
●整形外科　椋木毬(藤が丘病院へ)、荻原陽(横浜市北部病院へ)、井垣龍(藤が丘病院へ)、辰尾秋斗(藤が丘病院へ)、岡田浩希(藤が丘病院へ)、占部裕太(江東豊洲病院へ)、松木良介(横浜市北部病院へ)
●脳神経外科　坂口顕弘(藤が丘病院へ)　●泌尿器科　鄭有珍(藤が丘病院へ)、森田順(藤が丘病院へ)
●放射線科　萩原遼太(横浜市北部病院へ)、大石万里(横浜市北部病院へ)
●リウマチ・膠原病内科　神﨑満美子(藤が丘病院へ)
学外施設へ（2023 年 10 月 1 日付）
●救命救急科　伊藤圭太、野崎季一郎、松根佑典　●呼吸器・アレルギー内科　岩住衣里子
●産婦人科　中村豪、根本碧、髙橋沙椰、青木加奈子、堀江真理、永元慶佑、南渕杜萌、福島莞太、吉井るい
●循環器内科　大西克実、後閑俊彦、新井帝東　●消化器・一般外科　冨岡幸大、柴田英貴
●消化器内科　中谷真也、冨士貴弘、水野紗也香、坂隆寛　●小児科　青木康一郎、岩中悠真
●小児循環器内科　岩堀真紀　●腎臓内科　金澤伸洋、杉山定　●整形外科　小澤静香、妹尾尚弥、小糸晃皓
●内視鏡センター　飯髙正典　●泌尿器科　小串佑太、川村杏樹　●皮膚科　三浦淳
●放射線治療科　西村恵美　●リハビリテーション科　佐久間香那
学外施設へ（2023 年 10 月 2 日付）
●整形外科　新妻学

退職

2023 年 9 月 19 日付
●腎臓内科　近藤亜紀
2023 年 9 月 28 日付
●集中治療科　丸尾寛子
2023 年 9 月 30 日付
●眼科　坂本真隆　●救命救急科　牛丸遥香　●産婦人科　寺屋直樹
●腫瘍内科　平澤優弥　●小児科　高瀬眞理子、西村和佳乃　●整形外科　丸山博史
●皮膚科　岩立和子　●放射線科　谷藤瑞加　●放射線治療科　関本篤人
●頭頸部腫瘍センター　江川峻哉、渡井彩

トピック

サンクス！グッドプラクティスパートナー（第 42 回）

当取り組みは、昭和大学病院・附属東病院において関係職種間での行動（臨床に関する事項）を患者さんにより良い医療を提供することを目的としております。

小児科から総合サポートセンターへのありがとう！

小川　何奈　様　へ

主たる療育者が、他の家族の急病などで子供の入院・入所先が必要となった時、色々な所に問い合わせ、調整してくださいました。

【患者さんに与えた良い影響】

ご家族は助かり、本人にも安全な環境を提供することができました。

さいかち学級の皆様へ

悩み・不安に連日耳を傾け、寄り添い、必要時は保護者の不安にも対応してくださっています。

【患者さんに与えた良い影響】

医療者ではない大人の関わりが入院中にもあることで子供の居場所が担保されることはとても重要で素晴らしいことです。

さいかち学級の皆様

放射線技術部から臨床病理検査室へのありがとう！

家泉　桂一　様

家泉　桂一　様へ

学生の超音波実習、診療放射線技師との業務連携などの事案に対し、いつも快く前向きに相談に乗っていただいております。

【患者さんに与えた良い影響】

他職種における業務連携が強化され、患者サービスの向上や医療安全の質向上につなげることができました。

臨床病理検査室　採血室の皆様へ

ルミネスバッジ新規着用者の採血を、快く引き受けていただき、放射線管理業務がスムーズに実施できています。

【患者さんに与えた良い影響】

該当者が速やかに放射線業務に入れる為、結果的に臨床業務の効率が上がり、より良い患者サービスに繋がっています。

臨床病理検査室　採血室の皆様

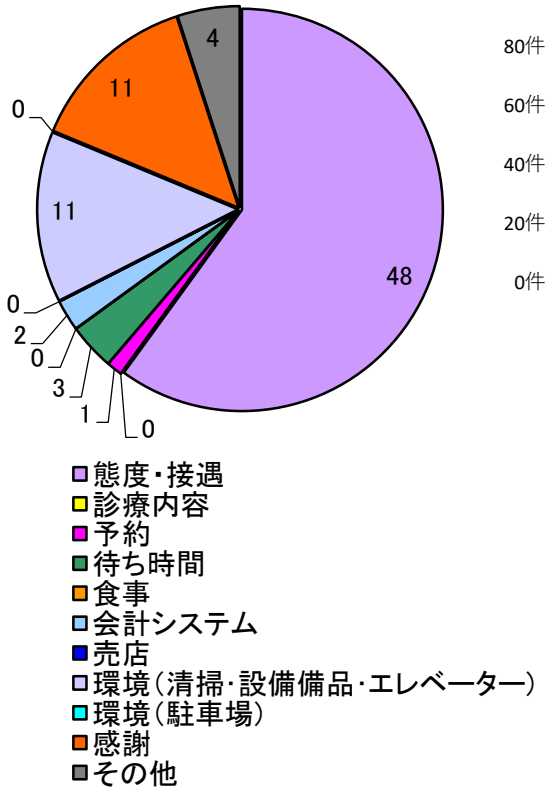
日頃よりチーム医療にご協力頂きありがとうございます。

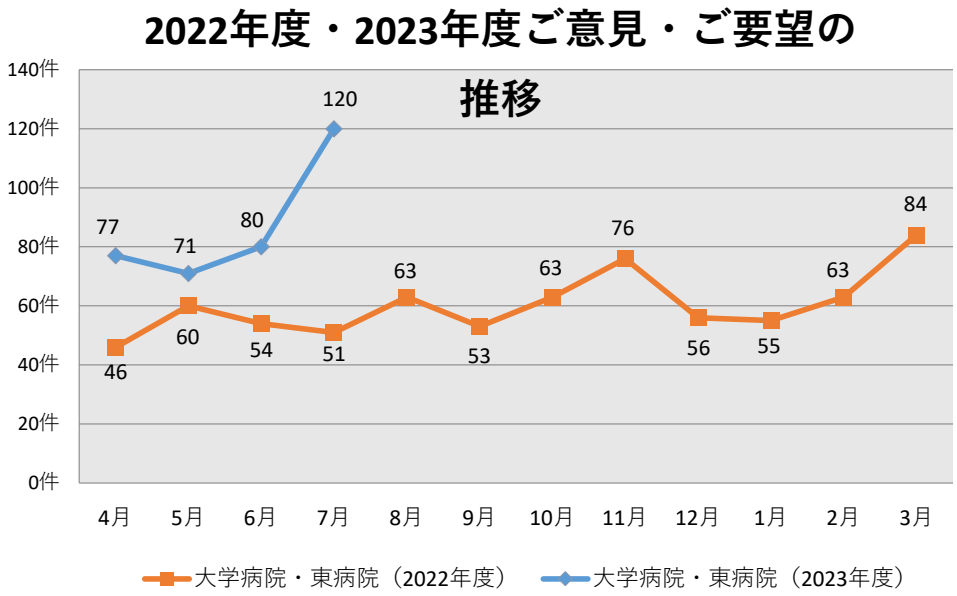
今後とも、よろしくお願いいたします。

患者さんのご意見・ご要望

ご意見・ご要望	回答	回答部署
地下１階に会計窓口ができ、帰りがスムーズでした。ありがとうございました。	地下１階の会計計算窓口をご利用いただきありがとうございます。会計計算が１階に集中し時間帯によっては大変混雑します為、分散して会計計算を行う窓口を設置いたしております。検査でお疲れのところスムーズにお帰りいただけたとのこと、うれしく思います。今後もスムーズなお会計を心がけ工夫をしてまいります。	医事外来課
入院棟６階の女子トイレの鍵がかけづらいです。	この度はご不快な思いをさせてしまい申し訳ございません。ご指摘の鍵の調整を行いました。設備等の不具合がございましたら早急な対応を致しますので、病棟スタッフにお申し付けください。病棟スタッフより監視室に連絡し対応させていただきます。	施設課

2023年10月号掲載分
ご意見・ご要望の内訳
昭和大学病院・東病院総件数
80件





お知らせ　10月9日(月･祝)の診療体制について

2023年10月9日（月・祝）の外来診療は以下の通りとさせていただきます。
患者の皆さまにはご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

対象日	診療状況	
	外来	救急外来
2023年10月9日（月・祝）	**臨時診療** **【内科系】・【小児科】** 8：30～17：00	救急診療は 通常通り実施します。

※臨時診療日は人員を縮小しているため、専門医による診療を提供できない可能性があることを予めご了承ください。
※臨時診療日は、休日加算および時間外選定療養費（注）（8,800円）を徴収いたします。
（注）紹介状持参、当院かかりつけで予め来院指定の患者さんは時間外選定療養費の徴収はありません。

編集後記　食道がんセンター　講師　山下（やました）　剛史（たけし）

長袖の季節になると、一層季節の変化が早く感じます。今年の夏は猛暑が続き、季節外れのインフルエンザ、コロナ感染の遷延など、戻ったかに見えた日常は、まだ十分でない印象があります。今年もあと３ヶ月、年度としては折り返しを迎えました。外科領域ではロボット支援手術がさまざまな分野で行われています。患者さんのみならず医療スタッフにおいても安全かつ最適な医療を提供できるよう、多職種での協力、連携を大切に頑張っていきましょう。

昭和大学病院･附属東病院の理念

- 患者本位の医療
- 高度医療の推進
- 医療人の育成

昭和大学病院・附属東病院の基本方針

- 患者さんと共にチーム医療を実践する。
- 特定機能病院及び地域の基幹病院として高度急性期医療を推進し、質の高い医療を提供する。
- 教育病院としての機能を充実し、質の高い医療人の育成を行う。
- 人間の尊厳及び人権を守りつつ、高度な臨床研究を実践する。

※記事見出しの色分けについて
病院だよりでは、見出しに色分けをすることで読者の皆さまが読みやすいよう工夫をしております。
黄色見出し：患者さん、患者さんのご家族向け
青色見出し：医療関係者向け
緑色見出し：医師の配属・異動・退職について

病院広報委員会委員：入山　洸希、大江　克憲、大内　久美子、岡崎　靖子、鷲見　賢司、富田　英、並木　美加子、蜂須賀　綾香、林　直輝、本寺　哲一、村上　秀友、山岸　昌一、山下　剛史、吉田　仁、渡邊　聡（50音順）